

平成25年7月19日

高松市長 大西 秀人 様

高松市国分寺地区地域審議会  
会長 土井 信 幸



建設計画に係る平成26年度から27年度までの実施事業に  
関する意見の取りまとめ調書の提出について

盛夏の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。  
日ごろは、本地域審議会につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼  
申し上げます。

さて、平成25年4月17日付け高地政第59号で依頼のありました、建設計画に  
係る平成26年度から27年度までの実施事業に関する意見の取りまとめについて、  
本地域審議会として意見集約を図り、別紙のとおり取りまとめましたので提出いたし  
ます。

つきましては、取りまとめ事項の予算化および事業化について、格別の御配慮をい  
ただきますようお願い申し上げます。

## 建設計画に係る平成26年度から27年度までの実施事業に関する意見

- 1 節水対策の推進
  - 井戸の整備促進事業について
  
- 2 消防・防災体制の整備
  - 自主防災組織等育成事業について
  - 避難所の充実について
  
- 3 伝統文化の保存・継承と活用
  - 「讃岐国分寺跡」周辺の景観形成について
  
- 4 県道等整備について
  - 県道中通線の拡幅整備について
  
- 5 都市基盤の整備
  - JR端岡駅周辺整備計画の策定と事業の推進について
  
- 6 行財政運営の効率化と支所等の機能整備
  - 国分寺支所の総合センター（仮称）化への推進

※ 各事業の詳しい内容については、別紙のとおり。

**建設計画に係る平成26年度から27年度までの  
実施事業に関する意見の取りまとめ調書**

**平成25年7月19日**

**高松市国分寺地区地域審議会**

建設計画に係る平成26年度から27年度までの実施事業に関する意見について

園分寺地区

番号	項 目	意 見 の 内 容
1	●井戸の整備促進事業について	<p>節水対策および震災対策として、井戸水の活用は有効と考えられます。</p> <p>現在、給水地域外における井戸水等生活用水確保についての補助制度はありますが、市域全体において井戸の普及促進に対する補助制度を検討していただきたい。</p> <p>また、渇水時（第三次取水制限以降）における井戸水の飲料水水質検査の減免制度を、通常時にも適用できるように拡充していただきたい。</p>
2	<p>●自主防災組織等育成事業について</p> <p>●避難所の充実について</p>	<p>東日本大震災以降地震に対する備えの必要性が求められていますが、園分寺地域は防災意識が一向に高まらず、自主防災組織率も市の平均を大きく下回っています。北部校区で、昨年地域ぐるみで防災訓練を実施し、ある一定の成果を得ることができ、防災意識も少し高まったように思われます。</p> <p>今年は、育成事業をうけての防災訓練の計画を進めています。現在の補助枠では、訓練用資機材の調達にも限界があることから、大型資機材（小型ポンプ・炊き出し釜等）については、地区ブロックごとに購入・管理し、各地域の訓練に貸出す方法を検討していただきたい。</p> <p>また、こうした活動を行うことにより、自主防災組織率の向上や防災を通じて地域間の交流が生まれ、将来、地区ブロック単位での防災訓練の開催も可能になると考えられる。</p> <p>災害時において情報の確保は重要な課題であり、将来、各避難所にも受信機（市民周知用）が整備される予定と聞いておりますが、災害時においては市民に情報を提供するだけでなく、地域の情報を正確に把握する必要があることから、避難者も利用できる緊急用電話等を設置するなど、避難所の管理運営体制の充実を図っていただきたい。</p>

3	<p>●「讃岐国分寺跡」周辺の景観形成について</p>	<p>高松市では、平成21年12月、「美しいまちづくり条例」の制定を契機に、「景観計画」の策定、昨年7月からの「景観条例」の施行により、良好な景観の保全・形成・創出を図ることとしていますが、国分寺地域には国の特別史跡に指定されている「讃岐国分寺跡」があり、史跡公園・資料館が整備されており、毎年秋には史跡まつりも開催されています。</p> <p>こうした、地域の活力を活かし、貴重な歴史や文化を次代に引き継いでいくために、「讃岐国分寺跡」周辺の景観についても、今後ルールづくりの検討が必要と考えますが、市として、今後どのように考えていくのか教えていただきたい。</p>
4	<p>●県道中通線の拡幅整備について</p>	<p>拡幅整備については、これまでも県への要望や地元関係者への助言などを行っていただいておりますが、早期着工に向けて、引き続き、関係機関に対する要請をお願いしたい。</p>
5	<p>●JR端岡駅周辺整備計画の策定と事業の推進について</p>	<p>本事業は、合併後7年余りが経過した現在も前進していない現状にあり、現在の取組体制には限界を感じる。</p> <p>しかし、この事業は、高松市の西部地域の発展に欠かせないものであるため、駅のバリアフリー化やICカードの導入を検討しているJR四国ともこれまで以上に連携協力し、市の最重要事業として公共交通利用促進に向け、より積極的に取り組んでいただきたい。</p>
6	<p>●国分寺支所の総合センター（仮称）化への推進</p>	<p>西部南地域の総合センター（仮称）については、国分寺を含めた4地域内で検討されているところですが、選定においては、現在の国分寺支所の利用実績や市民の利便性を十分踏まえた上での検討をお願いしたい。</p> <p>また、現在多くの方から指摘されている支所内への入口についても、利用しやすいよう合わせて検討いただきたい。</p>